

第37回 テニス競技実施要項

1. 競技種目

Aクラス・Bクラスごとに分けて、下記種目を行う。

(1) Aクラス

シングルス戦 : 男子シングルス・女子シングルス

ダブルス戦 : 男子ダブルス・女子ダブルス

(2) Bクラス

シングルス戦 : 男子シングルス・女子シングルス

ダブルス戦 : 男子ダブルス・女子ダブルス

2. 競技規定

大会開催年度の(公益財団)日本テニス協会のテニス競技規則及び本大会申合せ事項によるものとする。

3. 出場資格

- (1) 出場人数について、加盟団体毎に制限を設けない。
- (2) 選手はAクラスとBクラスのどちらかに出場できる。両クラス同時出場はできない。
- (3) Aクラス、Bクラスも、シングルス・ダブルスの単数、複数出場はできる。
- (4) 加盟団体内でダブルスのペアが組めない場合、大会競技実施要項規定6(2)により、当該ブロックの他加盟団体の者と組むことができる。それでも組めない場合は、ブロック枠を越えて組むことができる。

4. 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。但し、参加状況によりリーグ戦とすることがある。
- (2) 1試合 1 セットマッチ6ゲームオール7ポイント・タイブレーク方式。但し、天候やノーアド方式等、技術委員の判断で指示を行う。
- (3) 競技進行上、差し支えない限り、雨天でも決行する。
- (4) 1日目シングルス、2日目ダブルスとする。
- (5) シングルスの場合 1日 1人あたり男子6試合女子5試合を限度とする。
- (6) 事情により、1日目が開催されなかった場合、シングルスを優先とする。
- (7) JTA 競技規則チェアアンパイアのつかない試合規則を全て適用する。よって、適当数のロービングアンパイアを配置する。
- (8) 試合は発表されたオーダーオフプレーに従い、遅滞なく続けなければならない。

5. 使用球

JTA 公認ボールを使用する。

6. 組み合わせ

- (1) 参加申し込み締め切り後、実行委員会・審判長・技術委員と申し合わせを行なう。合意を経てから実行委員会において、審判長立ち会いのもとで代理抽選により決定する。
- (2) 1回戦は同県および同ブロック同士とならないように配慮を行なう。

(3) シード順位は昨年度全国ろうあ者体育大会成績を対象とする。

7. 注意事項

(1) 競技中は補聴器の装着を認めない。

(2) コートはオムニとする。

(3) 試合開始前のウォーミングアップは3分間とする。但し、試合進行状況により、変更する場合もある。

(4) 競技服装・シューズはJTA 競技規則による。

8. 表彰

(1) 閉会式にて実施する。

(2) 男女別(A・B クラス別)に優勝、準優勝、3位に賞状・メダルを授与する。但し、出場人数が3名以下、あるいは3ペア以下の場合、1位のみ賞状・メダルを授与とする。出場人数が6名以下、あるいは6ペア以下の場合、1、2位のみ賞状・メダルを授与とする。

9. 競技サインについて

(1) ポイント

ア) 0(ラブ)	指全部で0をつくる。(指文字の「お」)
イ) 15(フィフティーン)	1とし、人差し指を1本立てる。
ウ) 30(サーティー)	2とし、人差し指と中指の2本を立てる。
エ) 40(フォーティー)	3とし、人差し指と中指と薬指の3本を立てる。
オ) デュース	両手で下に向けて閉じるしぐさをする。
カ) アドバンテージ	こぶしを握り、親指を水平にして(指文字の「あ」)をその得点プレーヤーにむける。

(2) コール

- ア) 「アウト」「フォルト」又は「ダブルフォルト」は、片手を高く上げて示す。
- イ) 「グッドボール」は、腕を伸ばし、手のひらを下に向け、胸より下に示す。
- ウ) 「レット」は、両手を肩より高く上げた後、片手の手のひらをひらき(ネットを意味する)、もう一方の手は握り(ボールを意味する)ネットに触れた様子を示す。そして、指を第1サービスの時は2本立て、第2サービスの時は1本立てる。
- エ) 「ノットレディー」および「タイム」は、両手で「T(ティー)」の形で示す。
- オ) 「タイブレーク」は、両コートに対してこぶしを握り両手の親指を立てて「対等」の手話で示す。
- カ) 「エンドの交替」は、両手を左右に伸ばし、それを左右に交差させる。

10. 本要項改正

- ・ 一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会
- ・ 一部改正 2005年2月27日 第7回全国委員会
- ・ 一部改正 2006年2月19日 第8回全国委員会
- ・ 一部改正 2009年2月8日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2011年2月6日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2014年2月2日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2018年2月9日 第3回本委員会